

■「リズム」に合わせた音声対話（例：山手線ゲーム）



■会話の内容に応じた「ため」（例：なぞかけ）



■複数のAI技術の組み合わせ（例：音声・感情・疑問・性別認識※）



提供価値

実証実験/PoC段階

- 言葉遊び×対話タイミング制御技術により、“声でシステムとやりとりすること”の価値を高めた音声対話を実現します。
- 「リズム」に合わせた言葉のやりとりにより、音声対話のゲーム性を高めます。（例：山手線ゲーム）
- 会話の内容に応じた「ため」の導入により、対話のわくわく感を高めます。（例：なぞかけ）

概要

- 音声対話システムの応答タイミングを制御することで、音声対話の「楽しさ」を高めます。
- 会話の状況に応じた応答タイミング制御によって、これまでの決まったタイミングでの応答ではなく、人間のように柔軟にタイミングを変えて話します。
- mydaiz 等の音声対話サービス開発のノウハウを活かして、多種多様な AI 技術を組み合わせた言葉遊びも実現できます。
- 親しみやすい音声対話システムを開発することで、教育や介護を含めた音声対話の用途拡大を目指します。

